



2016年3月期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 新宅 祐太郎
問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

平成 28 年 5 月 10 日

2016年3月期決算概要と業績予想

テルモ株式会社
 常務執行役員 IR・広報室担当
 北畠 一明

2016年5月10日

決算総括：大幅な増収増益を達成

	(億円)			
	14年度	15年度	増減率	為替除く 増減率
売上高	4,895	5,250	+7%	+5%
粗利益	2,561 (52.3%)	2,849 (54.3%)	+11%	+10%
一般管理費	1,592 (32.5%)	1,701 (32.4%)	+7%	+4%
研究開発費	294 (6.0%)	331 (6.3%)	+13%	+9%
営業利益	675 (13.8%)	817 (15.6%)	+21%	+25%
(のれん等償却除く)	851 (17.4%)	1,019 (19.4%)	+20%	+21%
経常利益	707 (14.4%)	731 (13.9%)	+3%	
純利益	385 (7.9%)	507 (9.7%)	+32%	

期中平均レート
 USD 110円 120円
 EUR 139円 133円

- 売上 : グローバルで、カテーテル、ニューロが二桁伸長を継続し、全体を牽引
- 営業利益 : 心臓血管を中心とした高収益品の売上拡大、コスト改善により粗利益増
- 経常利益 : 前年同期の為替差益（66億）に対し、今年度は差損（75億）
- 純利益 : 東京都渋谷区の土地売却益など

営業外・特損益・法人税

(億円)

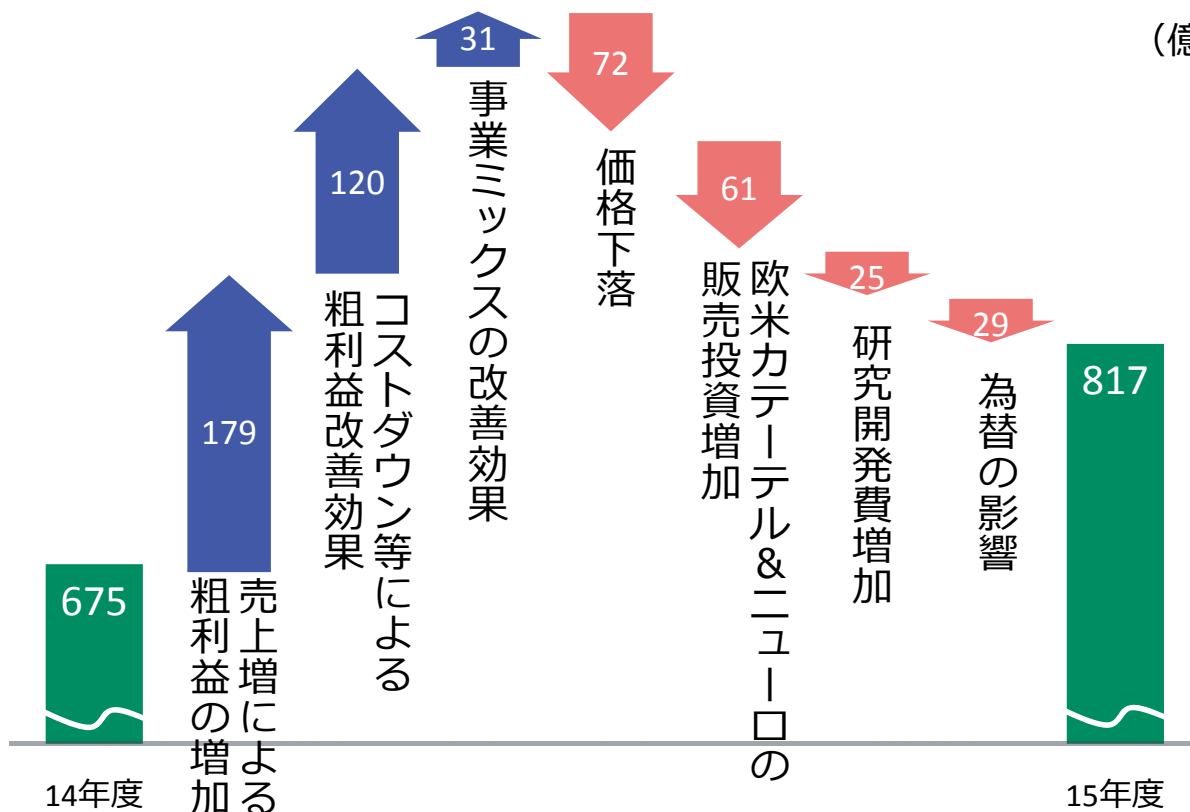
	14年度	15年度		
営業外損益	33	-86	為替 14年度 15年度	+66 -75
経常利益	707	731	前同比	+3%
特別損益	-67	+38	14年度 欧州再編 15年度 土地売却(Q2)	-56 +44
税前利益	640	769	前同比	+20%
法人税等合計 法人税等負担率	-256 40%	-262 34%	税制改正	税負担減
純利益	385	507	前同比	+32%



3/17

営業利益増減分析

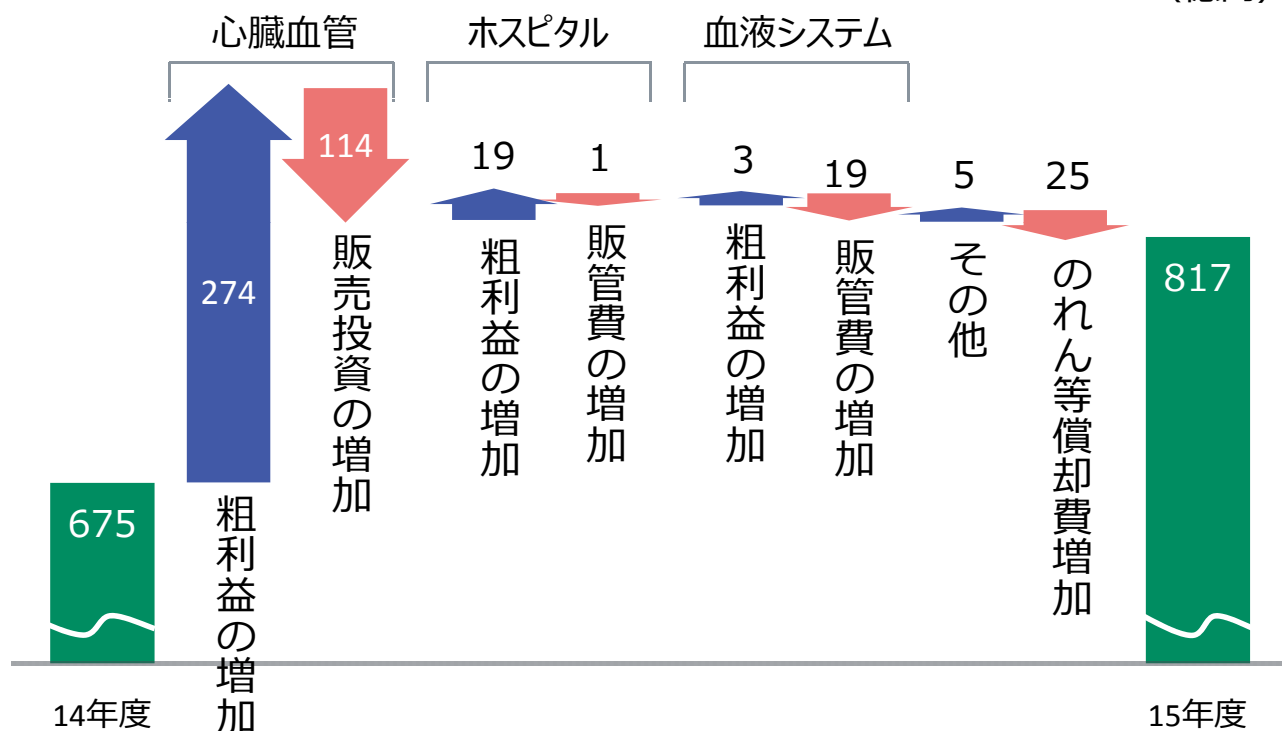
(億円)



4/17

営業利益増減分析

(億円)



営業利益への為替の影響

- USD : ドルベースの生産・経費の増加により、ほとんど為替ニュートラル
- EUR : 欧州生産縮小、ユーロ売上増加により、感応度アップ
- 新興国通貨 : 新興国での売上増加、直近の大幅下落により影響度拡大

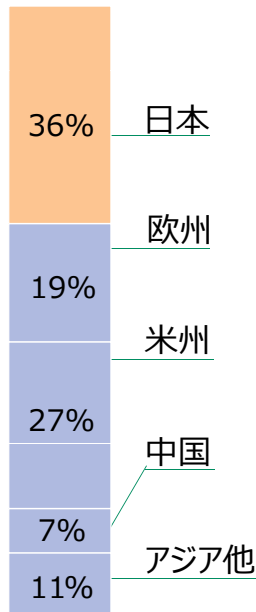
通貨別	為替の変動 (円) FY14 ~ FY15								営業利益への影響 (億円)		
	FY14Q1	Q2	Q3	Q4	FY15Q1	Q2	Q3	Q4	Q1-Q3累計	Q4	年度累計
USD	102	104	115	119	121	122	121	115	-8	+11	+3
EUR	140	138	143	134	134	136	133	127	-16	-9	-25
人民元	16.4	16.9	18.7	19.4	19.6	19.5	19.0	17.6	+18	-11	+7
その他 (アジア・中南米等)	3.2	3.2	3.5	3.7	3.7	3.5	3.4	3.2	-3	-11	-14
合計									-9	-20	-29

地域別売上高

15年度
14年度

売上高

100% = 5,250億円



売上額前年比較

金額(億円)	伸び率(%)	コメント
() 内は為替影響除く		
1,872 1,831	2%	心臓血管全般に加え、ホスピタル（輸液システム、腹膜透析、DM製品）が牽引
1,018 1,046	-3% (2%)	ホスピタルの低収益事業縮小やユーロ安の影響を受ける
1,435 1,253	14% (6%)	血液における価格下落の影響が出るも、カテーテル、ニューロが二桁伸長を継続
332 245	35% (26%)	代理店網の見直しで、内陸部や、二級病院等のカバー率が拡大し増収
593 519	14% (10%)	心臓血管、血液ともに二桁伸長し牽引

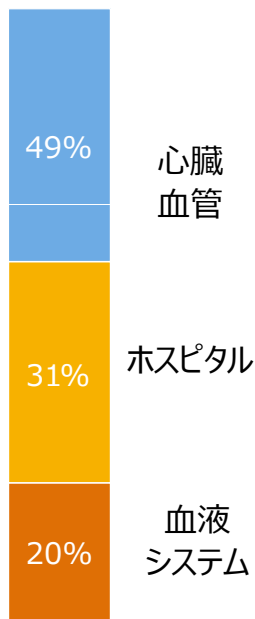


カンパニー別売上高

15年度
14年度

売上高

100% = 5,250億円

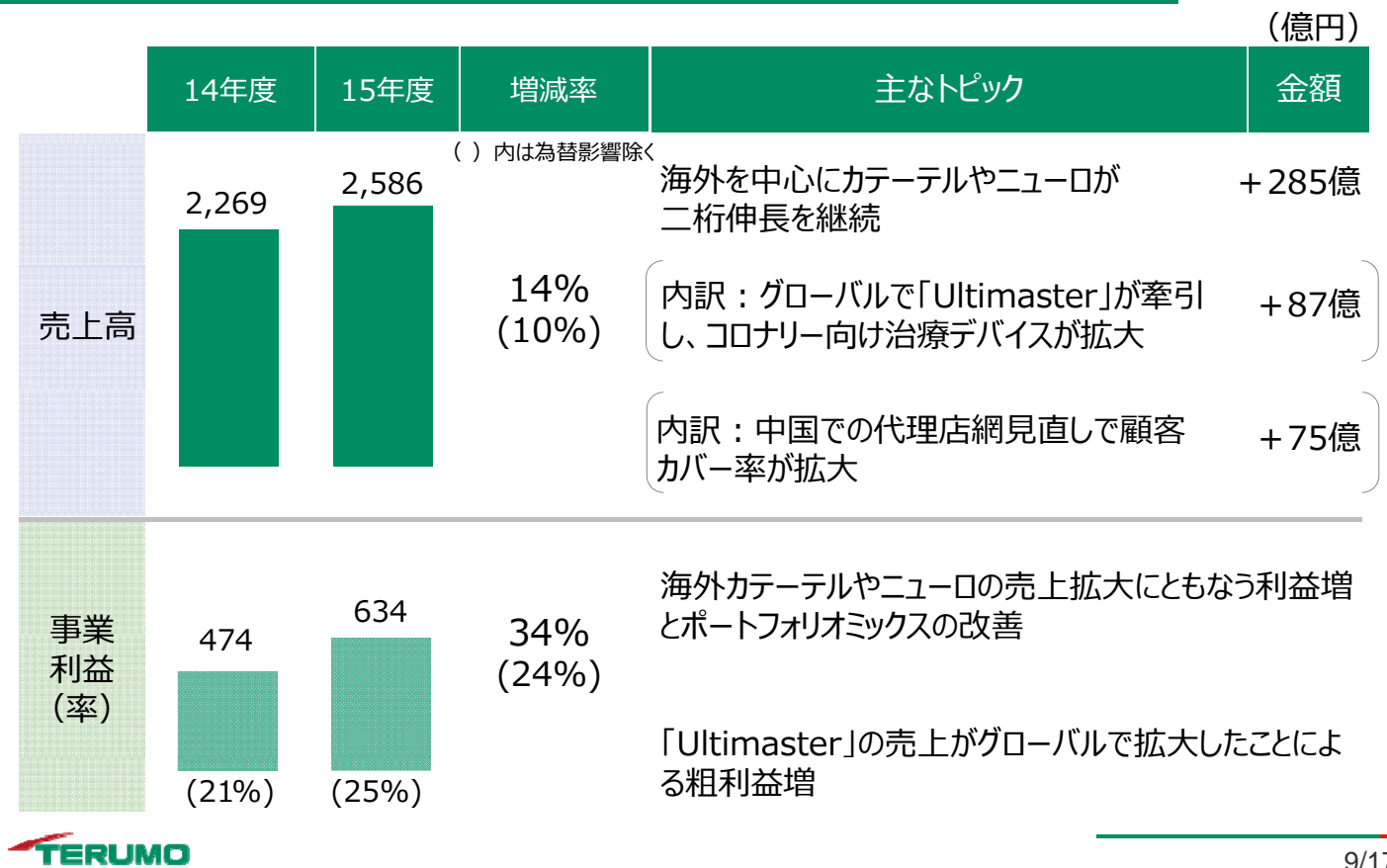


売上額前年比較

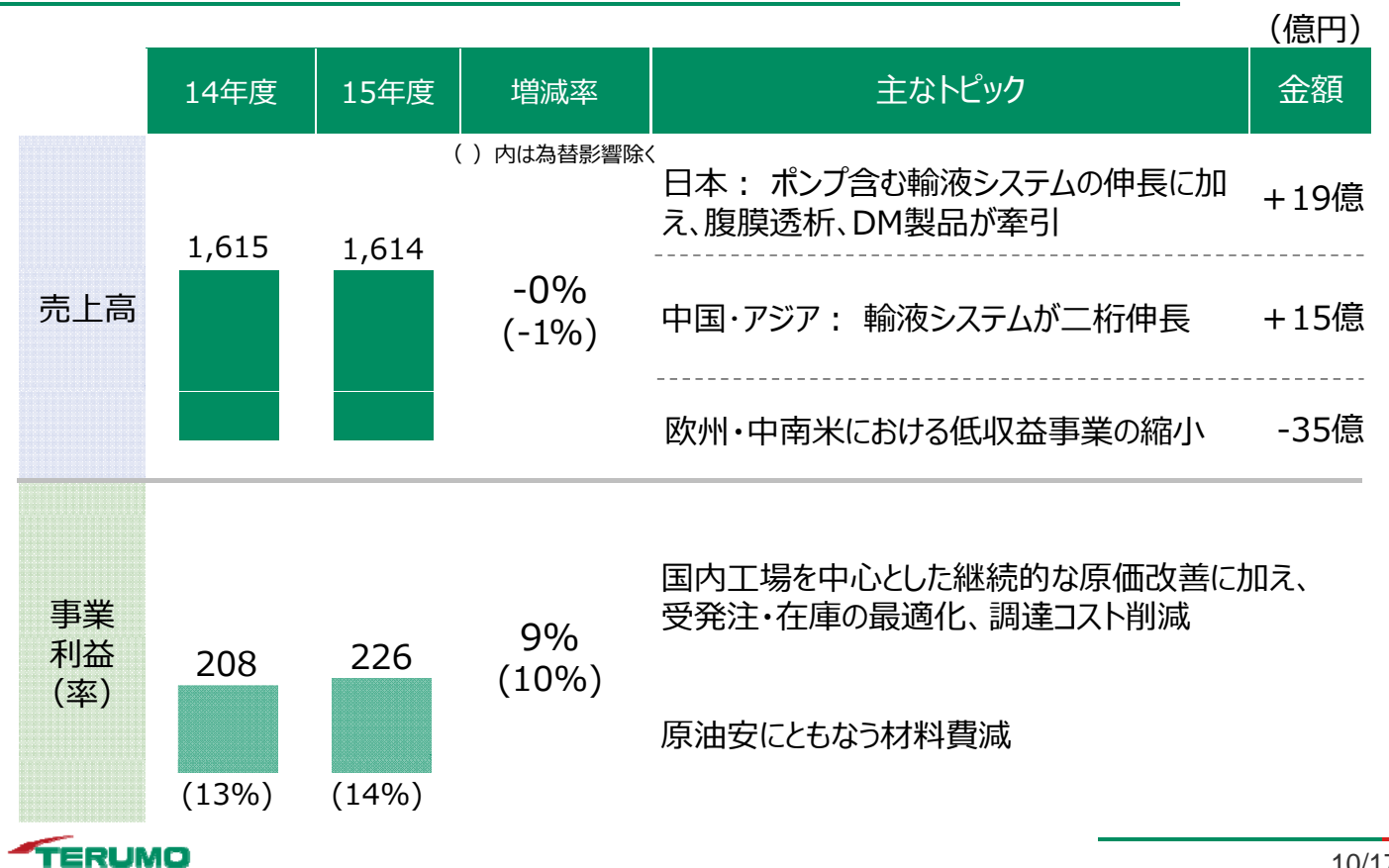
金額(億円)	伸び率(%)	コメント
() 内は為替影響除く		
2,586 2,269	14% (10%)	海外カテーテルやニューロの二桁伸長に加え、グローバルで「Ultimaster」が牽引
1,614 1,615	-0% (-1%)	欧州・中南米における低収益事業縮小の影響。国内は輸液システムなどが伸長
1,050 1,011	4% (2%)	米国を中心とした新価格のマイナス影響があるものの、アフレス治療や細胞処理システムが二桁伸長



心臓血管カンパニー：海外カテーテル、ニューロが牽引。二桁の増収増益



ホスピタル：欧米・低収益事業縮小で売上横ばいも、コスト改善で収益改善



血液システム：新興国、アフレス治療ともに二桁伸長を維持

					(億円)
	14年度	15年度	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	1,011	1,050	4% (2%)	海外において、アフレス治療や細胞処理システムが二桁伸長	+36億
				中国・アジアにおいて、血液センター向け成分・全血採血ともに二桁伸長	+29億
				米国を中心とした先進国における新価格のマイナス影響	-18億
事業利益(率)	185 (18%)	169 (16%)	-9% (-3%)	米国生産品の欧州販売における、対ドル・ユーロ安のマイナス影響	

15年度 主なトピックス

■ 全社

- 監査等委員会設置会社へ移行（6月）
- 総額610億円の自社株買い（8月、2月）
- 「健康経営銘柄」（1月）、「なでしこ銘柄」（3月）に選定
- 中空糸人工肺、大河内記念賞を受賞（3月）

■ 事業

- 「Misago」が日本企業初の米PMAを取得（6月）
- 皮内投与型デバイスの国内承認（9月）
- 「ハートシート」の国内承認（9月）
- 日本で「Ultimaster」をローンチ（10月）

15年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ	領域	製品	地域	ローンチ
心臓	DES (Ultimaster) ◎◎ ★	日	10・1発売	CV	遠心ポンプ・ディスポ (PCPS用)	日	Q4
	ステント (Misago) ★	米	Q1	血液	自動製剤化システム ★	日	FY16 予定
ペリフェラル	PTAバルーン (膝上)	欧・米	Q2		DES「Ultimaster」	ステント膝上「Misago」	PTAバルーン「Metacross RX」
	PTAバルーン (膝下)	日	FY16 予定		日本 (Q3)	米国 (Q1)	米国 (Q2)
	塞栓用ビーズ ★	欧	Q1		塞栓用ビーズ「LifePearl」	コイルアシストステント「LVIS Jr」	液体塞栓剤「PHIL」
脳	コイルアシスト・ステント ◎	日	Q1	欧州 (Q1)	日本 (Q1)	欧州 (Q1)	
	液体塞栓剤 ★	欧	Q1				
	プロテクションデバイス ★	欧	FY16 予定				

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高



16年度業績予想

(億円)

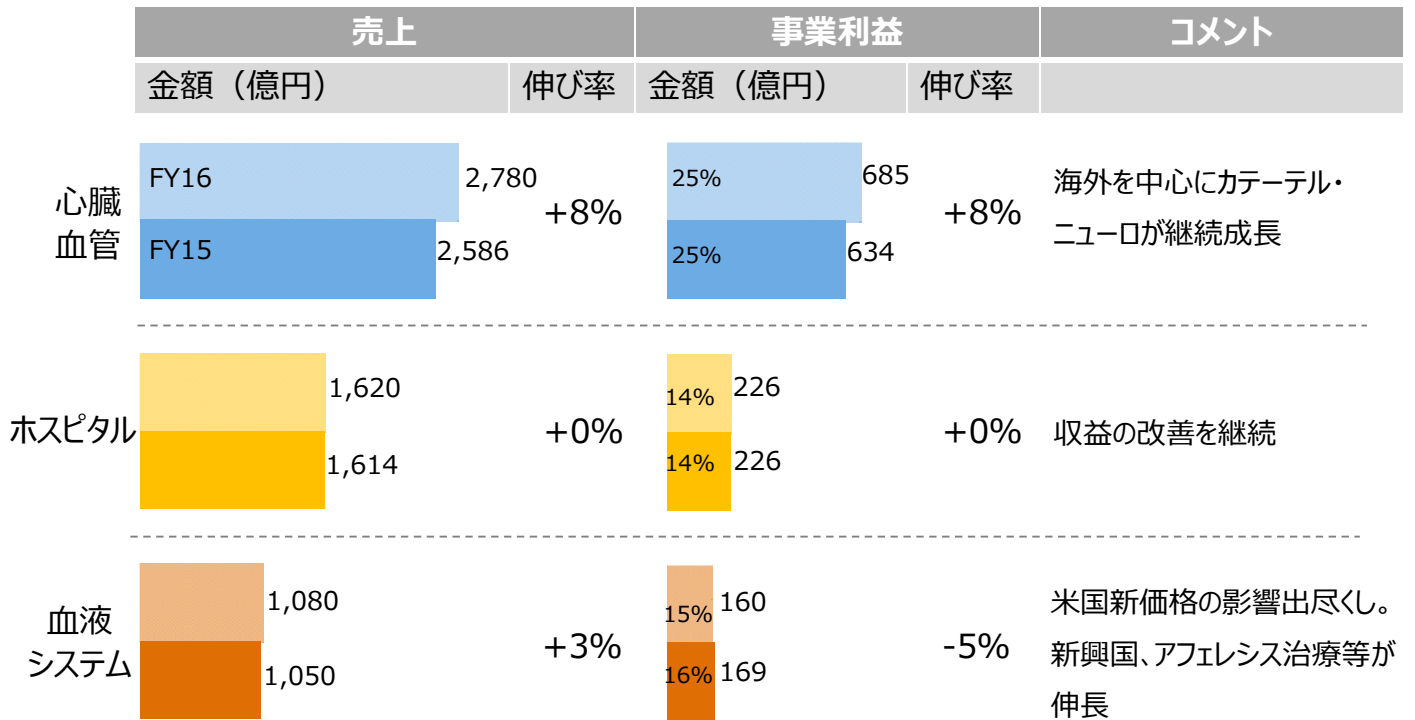
	15年度実績	16年度業績予想	増減率	為替の影響	16年度実質業績予想	増減率
売上高	5,250	5,170	-2%	-310	5,480	+4%
営業利益 (率)	817 (15.6%)	750 (14.5%)	-8%	-85	835 (15.2%)	+2%
経常利益	731	710	-3%	-103	813	+11%
純利益	507	525	+4%			

為替レート USD 120円 110円
EUR 133円 125円

16年度末 税効果計上による税負担率低減により、純利益増加見込み

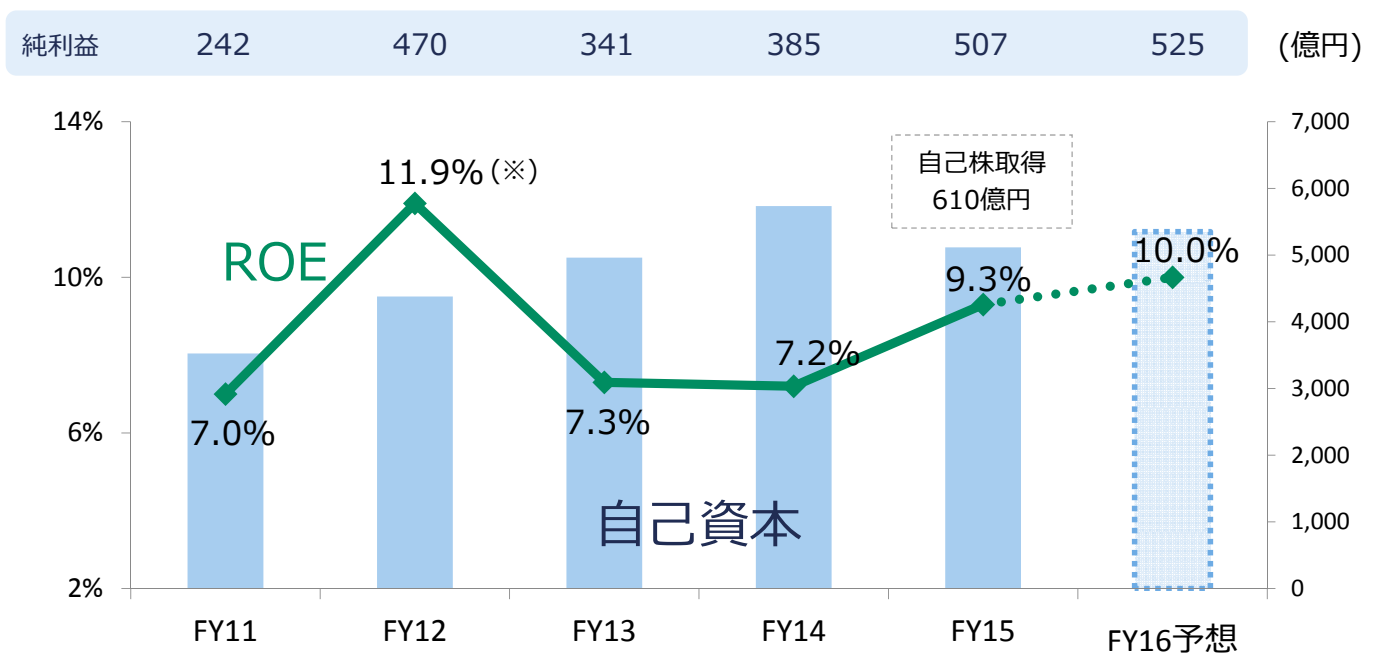


16年度業績予想（為替の影響除く）



ROE推移

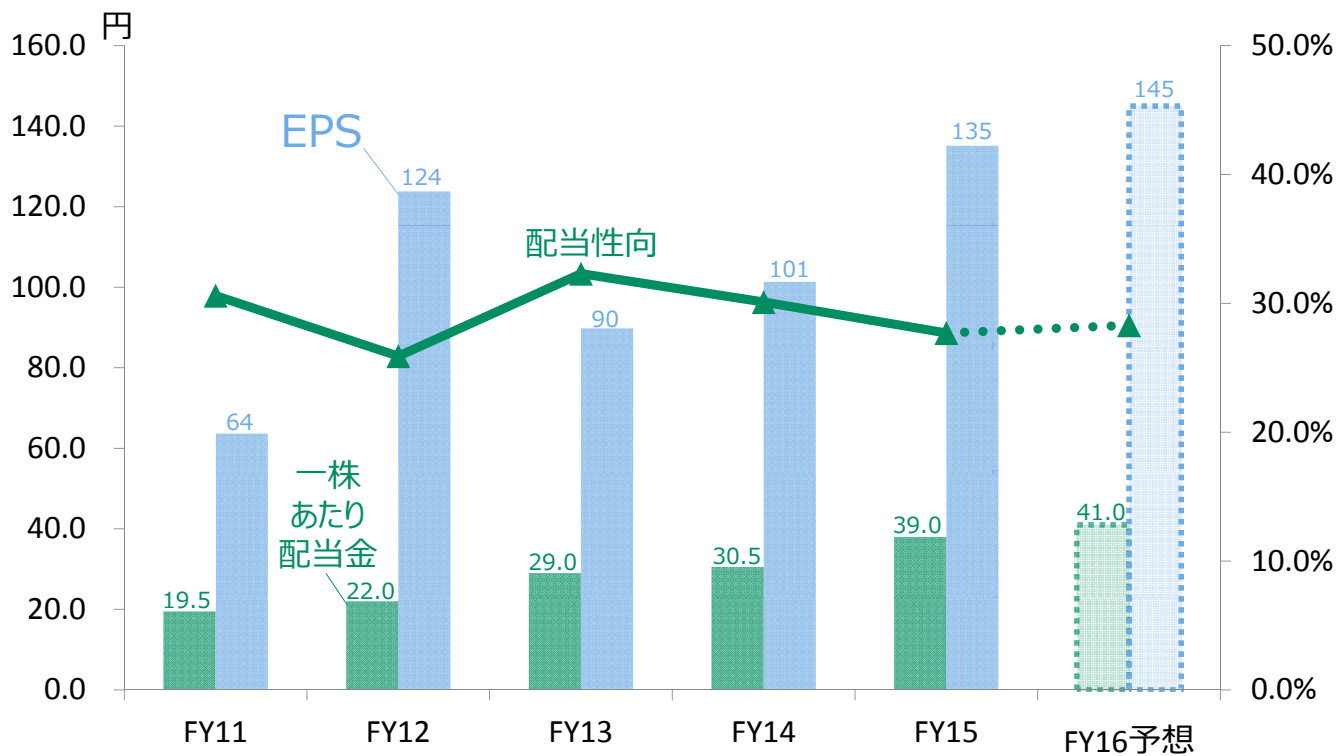
■10%台へ向上



(※)TBCT再編により法人税等減少



配当およびEPSの推移



2016年3月期 連結決算 補足資料

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2015年3月期			2016年3月期					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	34,600	118,927	153,528	37,102	7.2%	139,510	17.3%	176,613	15.0%
ニューロバスキュラー	2,252	18,648	20,900	2,489	10.6%	23,811	27.7%	26,301	25.8%
CV	9,397	29,777	39,175	9,882	5.2%	31,928	7.2%	41,810	6.7%
血管	2,045	11,294	13,340	2,079	1.6%	11,795	4.4%	13,875	4.0%
心臓血管カンパニー	48,296	178,647	226,944	51,554	6.7%	207,046	15.9%	258,600	13.9%
基盤医療器	48,737	29,793	78,531	49,896	2.4%	27,806	-6.7%	77,702	-1.1%
D&D	52,812	5,710	58,522	52,838	0.0%	5,511	-3.5%	58,350	-0.3%
DM・ヘルスケア	20,740	3,668	24,408	21,443	3.4%	3,885	5.9%	25,329	3.8%
ホスピタルカンパニー	122,290	39,172	161,462	124,178	1.5%	37,203	-5.0%	161,382	-0.0%
血液システムカンパニー	12,559	88,539	101,099	11,477	-8.6%	93,565	5.7%	105,042	3.9%
計	183,146	306,359	489,506	187,210	2.2%	337,815	10.3%	525,026	7.3%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥109.76)
(EUR1=¥138.69)

(USD1=¥120.15)
(EUR1=¥132.60)

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

2015年3月期

2016年3月期

営業キャッシュ・フロー	73,110	80,303
投資キャッシュ・フロー	△ 40,421	△ 23,495
フリーキャッシュ・フロー	32,689	56,808
財務キャッシュ・フロー	44,121	△ 79,936
現金及び現金同等物の換算差額	7,353	△ 6,606
現金及び現金同等物の増減	84,164	△ 29,734
現金及び現金同等物の期首残高	92,498	176,662
現金及び現金同等物の期末残高	176,662	146,927

参考情報

2015年3月期

2016年3月期

2017年3月期
見通し

研究開発費	29,360	33,147	35,500
設備投資額	41,441	31,454	39,000
減価償却費	40,692	44,674	44,000
一株当たり当期純利益(円)	101.33	135.14	144.64

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。